令和３年２月 25 日

養父市議会議長　西　田　雄　一　様

養父市新文化会館整備事業等特別委員会
委員長　植　村　和　好

養父市新文化会館整備事業等特別委員会中間報告書

当特別委員会において調査したことを、次のとおり中間報告する。

記

１　調査年月日　令和３年１月 19 日（火）

２　調 査 事 項　新文化会館整備事業等の進捗状況について
（１）　文化会館等建設事業の概要及び進捗状況について
（２）　周辺施設整備事業の概要及び進捗状況について
（３）　まちづくり文化芸術推進準備事業の概要及び進捗状況について

３　調査内容

文化会館等建設事業のほか、その周辺道路及び施設の整備事業並びに関連する計画策定事業について、市民生活部文化会館建設推進室、まち整備部土地利用未来課、同建設課及び経営企画部まちづくり文化芸術推進準備室から説明を受け調査を行った。

（１）　文化会館等建設事業の概要及び進捗状況について

養父市文化会館（仮称）建設工事の調査時における進捗状況は、ホール棟大屋根鉄骨トラスの設置を 12 月末に完了し、屋根スラブを施工中である。図書館棟は 11 月に着工し、基礎コンクリート工を完了、躯体工事を進めている。

12 月末時点の工事進捗率は、43.1％で当初の予定より 2.8％（日数換算で 22 日）の遅れとなっている。原因は、地中障害物（コンクリート殻）の処理、コロナ禍における工事自粛、昨夏の長雨と猛暑等が

施工の障害となったとしている。

工事の遅れを内装工事等で取り戻すよう検討してきたが、ホール内の音響、照明及び舞台装置の設置、調整及び様々な試験のために５か月を要することが判明し、５月末としていた完了を６月末に延期する必要が生じている。グランドオープンは予定どおり９月に行うとしている。

地中障害物（コンクリート殻）処理については、経済比較を行い、場内流用せず場外処分とする。敷地の土壌については、地中障害物発生箇所付近等の土壌検査を行い安全性の確認をしている。

地中障害物処分費及び建築確認申請における兵庫県指定の構造計算適合判定機関の指摘事項に対応する費用を必要とし、増額変更を予定している。

施設名称については、２月に第３回選考委員会を開催して決定を予定している。

（２）　周辺施設整備事業の概要と進捗状況について

新文化会館の建設に伴い、周辺の市道整備及び旧グンゼ事務所棟・宿泊棟の改修を行っている。

敷地内に新設する市道宮越諏訪町線の延伸部は現在施工中で、令和３年３月 25 日に完成予定である。また、敷地に隣接する市道宮越諏訪町線、同諏訪町１号線、同諏訪町２号線及び同諏訪町下町南線の改良工事は発注を終え、令和３年５月末完成予定としている。これらの道路は、安全対策に配慮し縦断勾配の修正や拡幅等を行うとともに歩道を設けて新文化会館周辺の散策等ができる計画となっている。

県指定の景観形成重要建造物である旧グンゼ事務所棟と隣接する宿泊棟は、耐震化、リニューアル工事等を行い事務所的な利用のほかテイクアウト式の飲食コーナーや休憩所等へ改修する計画で、２期に分けて整備し令和３年７月にはすべての工事を完成する予定としている。

（３）　まちづくり文化芸術推進準備事業の概要と進捗状況について

「養父市文化会館（仮称）を新しい出会いの場とするための基本計画」の策定のため、これまで３回の策定委員会を開催している。近日中に素案をまとめる段階であり、本年度中の策定を見込んでいる。

〈まとめ〉

新文化会館は、ホール、図書館、公民館、公園が一体となった複合施設である。各施設利用者が相互に利用することで全体のにぎわいが増すことを狙っているが、図書館の運営にあたっては、公民館と共有する動線部の使い方を工夫

する必要があるなど、図書館利用者への配慮が求められる。

公園部については、芝生化と最低限度の植栽が予定されているが、子育て世代からは遊具設置の声があることから、今後において検討されたい。

新文化会館の建設工事は、新型コロナウイルスや夏場の天候不順等の影響により当初予定より遅れているが、品質確保と安全作業を徹底した施工管理に努められたい。

旧グンゼ事務所棟等の改修事業の２期工事については、未だ利用計画が確定していない部分があるが、早急に方針を決定し、無駄のない事業執行に努められたい。

開館記念イベントとその後の運用に向けては、計画段階から行ってきた市民会議やワークショップなどの市民とのつながりを生かすとともに、本年度中に策定を見込む「養父市文化会館（仮称）を新しい出会いの場とするための基本計画」を基に、さらなる市民参画の機会の充実と実現に努められたい。